

膀胱炎について

今回は日本泌尿器科学会専門医の山川真季先生に
「膀胱炎」について伺いました。



▲山川 真季 医師

多く、尿道が短い女性に多い疾患です。血尿が出ることもあります。熱が出ることはほとんどありません。

診断は、尿検査で細菌や白血球（細菌と戦う細胞）がいることを確認します。通常の膀胱炎であれば3～7日の抗菌薬内服で症状が消失します。しっかりと抗菌薬を飲んで症状が改善しない場合にも、耐性菌（抗菌薬が効きにくい菌）が原因となっていることがあります。症状が再燃しないため、耐性菌を作らないためには、最後までしっかりと抗菌薬を服用することが大切です。

膀胱炎の予防には、膀胱内に菌を侵入させないことと菌を定着させないことが重要になります。そのため、外陰部を清潔に保ち、水分をしっかりと摂取し、疲れやストレスを溜めないことも大事になります。

なかなか治らない膀胱炎の場合には、細菌感染以外の他の病気が隠れていることがあります。

膀胱は尿を貯める袋です。膀胱炎は、細菌が外から尿道をさかのぼって膀胱内に感染することによって引き起こされます。大腸菌が原因菌であることが

多い、濁っている」このような症状は「膀胱炎」の可能性があります。

おしっここの気になる症状があれば、我慢せず早めに病院を受診してください。

社会福祉法人



恩賜財団

済生会 今治病院

☎0898-47-2500

今治市喜田村
7丁目1-6



<https://www.imabari.saiseikai.or.jp>